

けの服飾ブランド。山鹿社長の妻で、デザイナーの直子さんが商品開発を手掛け、ブランドの取扱店舗は全国に約40店ある。

太田は戦後、ニット製品の产地として栄えたが、海外で安価な製品が作られるようになり、産業が衰退しつつある。山鹿夫妻はこうした状況を知り、数年前、地元の工場に製品の一部の生産を委託した。

2016年秋冬の新作では、編み目の細かい「ハイゲージニット」を得意とするトネニット（同市新田中江田町）に依頼。質が高く、肌触りが柔らかいニットベストやショールを製造した。

山鹿社長は「地元で作ることができ、自分たちも張り合いがある。今後、太田で生産する割合を高められるといい」と展望する。

同社の商品は、全国の取扱店舗や経営するセレクトショップ「ハローマーケット」（同市富沢町）で購入できる。問い合わせはハローマーケット

「マウンテンディアーニット製品

海外から太田 生産切り替え



太田のニット工場で生産した
ショール

touch（トゥータッチ）」で企画製造する

ニット製品の一部を海外生産から地元太田での生産に切り替え、地場産業の発展に力を入れている。

アパレルメーカーのマ 市富沢町、山鹿雅明社長）

る。トゥータッチは女性向

（0276・55・5205）へ。